

TOPICS ～in 海外～

発信日付 2019年10月10日

発信名 国際部

内容
照会先 TEL : 011-233-1198

ユジノサハリンスク駐在員事務所

新学年の始まりは、サハリン州ではアルコールは買えません

今年は、9月1日が日曜日のため、9月2日に新学期が始まりました。サハリン州には学校が161校あり、新学年として授業を受ける生徒は約5万8千人で、そのうち約6千人が新一年生（日本でいう小学一年生）で、昨年より若干多いとのこと。

この日に合わせ、学校では新学年の行事が行われます。新一年生は、担任の先生に感謝を込めて花束をプレゼントする習慣があり、また、保護者も付き添い、この日だけは家族全員の一大イベントのようです。日本と変わらない光景がそこにはあります。



花束を持ち、先生との対面を待つ生徒たち

この日は子供たちの大切な日でもあるため、サハリン州法により、サハリン州ではアルコールの販売が禁止されます。ロシアでは、酒類の販売を禁止する日が何日かあります。5月25日：学年末終了式、6月1日：子供の保護の日、6月27日：青少年の日、7月8日：家族・愛情・忠実の日です。これ



まるで事件現場のような酒類コーナー

を守らない場合は、販売店の責任者及び販売店に罰金が科され、店の酒類が没収されます。また、普段の日でも午後10時から午前8時まで酒類の販売が禁止されています。

館山 浩

北海道 ASEAN 事務所（シンガポール）

道内インバウンド・アウトバウンドについて

10月からノックスクート航空がタイ・ドンムアン空港と新千歳空港便を就航する他、シドニー線（カンタス航空）等、相次ぐ北海道と海外を結ぶ直行便のニュースが話題になりましたが、シンガポール直行便が就航することをご存知でしょうか。シンガポールのナショナルフラッグであるシンガポール航空とスクート（シンガポール航空系LCC）の2社が例年、冬期限定で直行便を就航させています（昨年度はシンガポール航空のみで36往復、搭乗率約83%）。背景には、シンガポールをはじめとしたASEAN諸国の北海道インバウンドに対する根強い人気のほか、12月はシンガポールのスクールホリデー（冬休み）であることも重なり、北海道インバウンドの需要が高まります。特に、四季がない当地では、雪への強い憧れが道内インバウンドへの動機付けとなっています。



一方で、外務省の統計によると、北海道民の旅券（パスポート）保有率は14.7%と全国比でも低い水準にあり、道民による海外旅行者は決して多くないのが現状です。道内空港民営化や、新千歳空港の離発着回数増加に伴い、益々海外旅行や空の旅が身近な存在になりつつある今、一步、北海道から外に出ることにより、改めて北海道の良さを感じることができる絶好の機会だと思います。

是非この機会に、5スターを獲得したシンガポール航空の直行便を利用してシンガポールへお越し下さい。

杉山 和正